

## 山形県山岳連盟 創立60周年記念講演

期日：2010年11月21日(日)

場所：大手門パルズ

講師：石山 昭 氏

本文は、講師である石山 昭 氏より講演骨子を特別に寄稿いただき、山形県山岳連盟ホームページへの掲載許可を得たものです。

### 『近年のツアー登山の特徴から』

#### あいさつ

まずもって山岳連盟創立 60 周年誠におめでとうございます、山の会が結集して連盟が創立してから 60 年ですが、100 年近い山の会その歴史に敬意を表します、特に山岳と云う他の競技に無い自然を相手にする厳しい事業であり、連盟の運営や維持にはご苦労も多々あると思いますが、皆さんの一致団結の基、益々発展されん事をお祈り申し上げます。

私もスケート連盟の一役を担うものとして、連盟運営の諸課題のご苦労お察し申し上げます。

さて本題に入る前にお詫び申し上げますが、私は山岳連盟にも、ガイド協会にも入会していない者が、本格的な山岳を極めた方々を前にして記念講演等と本当に恐縮次第であります、海外遠征など大ベテランの方には何の参考にもならないと思いますが、今日は本来の登山と云うものから少し離れた「ツアー登山」について話をさせていただきたいと思ひます、しばらくの間お耳をお貸しいただきたいと思ひます。

私達 (5 名で構成しております) のツアー登山「名山紀行」は始めて 12 年になります、その間に参加された方は約 700 人・延人数は約 5000 人の方と一緒に登ってきました、はっきり云って参加者の体力の差はまったく違いますし、個人の癖もありますので色々苦勞があります、でも事故とか怪我とかは 1 件もありませんでした、此れだけは誇りに思っております、先週 3 回目のネパールから帰ってきました今年も全て無事終了した処であります。

怪我ゼロと申し上げました、名山紀行ではないのですが、実は私が防災へりに 1 回お世話になっております (18 年 4 月龍山にてアキレス腱切断・2 ヶ月半後には白山に登っていました) 大変貴重な体験をさせていただきまして、県民の税金を使わせていただきありがとうございましたお礼申し上げます。(アキレス腱は縮んだ時切れる)

#### 標題の「近年のツアー登山の特徴」

さて標題にあります「近年のツアー登山の特徴」と言うことでありますが、まあそんなに様変わりした訳ではありませんが少々変化はしております。

- ① 10 数年前は、本当に山が好だ「でも誰か連れてって欲しくないかな」と云う程度で今の様に参加者は多くありませんでした、初めての 2 年間は「東北 10 山」で始めましたが 10 回予定で実施し

たのが6~7回程度でした。

反面当時の装備関係が悪かったですね

靴は良くてキャラバンシューズ・雨具は透明のビニールカッパ・リックは子供のお下がり・下着は綿の丸首シャツにステテコなどの方も結構居りましたね、でも最近は装備が大変良くなりました、大きな変革です

- ② 最近は登山が好きだから、より「健康維持のための運動代わりに登山を選ぶ人」が多くなって来たようです、よって選んだ山が自分の体力と比例しているか分からない中で友達が行くから私も行く…そう云う方も多くなっています、又参加する山が何処にあつて・どんな山で・どの程度の山か・地図も見えてない・事前調べもなしで参加する方も居ります、要するに「連れて行ってもらう」「全てお任せ」の方が多くなってきております

- ③ 中高年、即ち退職後の第二の人生に「ツアー登山」を選ぶ人が多くなっており、これは男性だけでは無くって、「旦那さんが退職することによって奥様も退職に該当する」訳です、「主人が退職してやっと私も解放されました」と言っで参加する主婦の方がとても多い(参加者の70%)、又これから就業女性の退職者が増えてきます、この団塊層(戦後生まれ)の方がこれから益々増える時期に入ります、その方の目標は健康です・健康の基は運動です・運動は楽しみながら最大の運動量が得られるのが「登山」・だからツアー登山が人気ある訳です。時間と資金はとっても有る様です(7~10万何回も参加します)

東京に行った時神田辺りの運動具店を回って来ますが、登山コーナーの靴・リック売り場は順番待ちぐらいです、ほとんどが中高年、いや高年の女性が多いです、そつと話を聞いていると初めて登山をする方等が多いですね、間違いなく増えております

- ④ 知られていない山には集まりません・名の知れた有名な山にあこがれて参加して来る、但し、皆さんが楽しんできました厳しい山や沢・岩・険しいコースとは違う「**楽しめる程度の山とコースを望んでいる**」と云うことです。それから登山口と下山口同じ、即ち往復コースは自分達で行けるのであまり人気無い、**縦走コースに人気がある**

それから花の山が女性にすごく人気あります、花の百名山ですね、花の名前を覚える競争みたいに登りながら議論します(変に説明するとやられます)

- ⑤ 最近「山ガール」が増えて来ています、きれいな花模様や原色のシャツと下はタイツにスカート・ポーシはつば付ハットにサングラス等ファッションに気配りして、服装を見てもらう楽しみと登山を組み合わせた若い仲間達で行くガール達ですね、でもツアーには来ません。我々男性も少し華やかな服装を心掛ける時代かなーと思っています、皆さんも是非カラーで負けないよう頑張ってください。

変化と特徴はそんなところかと思ひます、兎に角十年前とは参加者の数が違ひますしまだまだ増えると思ひます

**ツアー登山を企画してみませんか**

ツアー登山の需要は増えます、ですから皆さんの山の会で企画し実施して見てはどうですか、山岳会の運営資金確保にも効果大です。

皆さん、私の経験から皆さんに申し上げます、**第二の人生は60から70歳迄が勝負**です、体力的に

も・やる気も・時間的にも自由になる時です、皆さんの此れまでの登山技術を有効に活かして、且つ趣味と実益を兼ねた時間を過ごしてみたいかですか、山岳会が主催する行事は信頼されています、だから絶対集まります、是非お勧めします。例えば、各地区で開催しています「山開き」等本当に安心だ…と聞こえてきます。

### 企画の手順と実施はどうすれば良いかな

私達が十数年やって来た手順を若干申し上げてみたいと思います

- ① 山の区域は、北の利尻から南の屋久島までを対象にしています、コース内容は当然皆様から見れば遠足かハイキング程度の内容です、危険を伴う岩登り・沢登り・コル渡り等は組みません、一般的無難なコースと日程を組みます
- ② 計画の組み方は、青森からアルプス地域までの場合は山形から貸し切りバスを使用・それ以外の北海道や関西以西は仙台空港から飛行機で行き、地元のバスを使用
- ③ 山を決める場合、季節に合わせた山を選考します、5～6月は暖かい九州地区・6～7月の梅雨時は北海道、飛行機使用する区域は折角遠くまで行くので2山掛けます。  
7月末～9月は北・中央・南アルプス区域その他全般です、アルプス地区の方が1山でも日程多く係る場合があります、皆さんなら2泊3日でしょうがツアーは4日掛けます（槍・穂高）他に海外も入れます（ネパール・スイス）
- ④ この計画をある観光会社をお願いして、主催は観光会社・私達はガイドと云うよりインストラクターとして参画します、ガイドとインストラクターの違いはと云うと、別に特別な意味はありませんが強いて分けるなら、ガイドは案内を主として行うとすれば、インストは「指導者」の意味の通り、企画から登山まで全般に係わり、特に参加者一人ひとりの行動を把握し、無事故で楽しい登山を達成できるようインストラクター同士の連絡を密にして常に情報を共有し、添乗員をも含め一致協力体制が要求される…此れが一番大切なことです（チームワークです）頼まれた立場だけでなく・主催者の立場としての認識が必要と考えています。

### ツアー登山の特徴と注意事項

- ① **参加者の山に対する知識**は幼稚園か小学生と思って対応して下さい「こんなことも知らないのか」「こんなことも出来ないのか」「こんなことも調べてこないのか」「そんな人は来るな」などと思ってはダメです、素人ばかりと思って程度をグート下げて見て下さい、当然参加者全員が「絶対安全で・楽しく・目的を達成」されることを最大の目的とします。
- ② **その為には**、1人のインストで把握出来るのは7～8人です、7～8名の班編成をして班毎に行動する、この際絶対必要なものは無線機です、色んな情報交換が最大の武器です、無線機には大変助けられた部分が多いです。  
アマチャー無線でも良いがバッテリー持たないので電池式のトランシーバーが最適
- ③ 班毎に一番弱そうな人を先頭に來てもらうこと、常にみんながついて來ているかを確認しながら、

班全体を把握すること、よく聞くことですが「ガイドさん早くて付いて行けない」と言う話を聞きます、「離れてしまい追いつく事が精一杯でつらい思い出しか残ってない」そんな事の無いよう**速さの調整**が必要です、何と云ってもゆっくりです、所定時間の3~4割増しの所要時間を考えて下さい。

(それでも遅れる方が出てくるときは、特別班を組み遅れる班だけで行動します、遅れは10~15分で追いつきます)

- ④ **休憩ですが**出発して15~20分で着ている物の調整をして下さい、(出発時かなり厚着です)休憩は40~50分に1回10分程度、急登の時は立ち止って呼吸調整します、その他の技術は皆さんが良く知っていると思いますので省略しますが、参加者の皆さんにその技術を伝授してやって下さい、そうでないと故障者が出て結果的に自分達に降りかかりますので
- ⑤ **分岐点での注意**は班員全員を確認してから進むこと、又分岐点だけでなく登山路途中での分かりにくい場所や危険な場所があったら班員全員に注意を促す、それを無線で他の班にも連絡する(例えば…二つに分かれているが右の方は崩れている部分があるので左の方を通るように・倒木の頭注意・木の根注意とか色んな状況を班員へ知らせる事)
- ⑥ **リックの重さに注意**：必要な水の量と水場の説明・食べ物は自分の分だけで良い他人分まで要らない(へばる人は必ずリック重い・余計な荷物ある)夏みかんなどの果物が多い(他人分まで)時には箱がらみの饅頭…自分ばかり食べるわけには行かないとの考えですね、旅行とは違う登山だと教える必要ある
- ⑦ **インストの中に女性一人は欲しい**、女性にしか云えない事が多い、特に途中でのトイレ(必ずテッシュ回収を指示してください・白い花園になる)・山小屋での悩みなど、他に前泊の旅館や山小屋で眠れないので**睡眠薬使用する方が多い(7~8割いる)** 困るのは寝る時飲まないで夜中に飲む人が居る、朝薬さめなくてふらつく時があるので注意。
- ⑧ 前泊や山小屋で**夕食や朝ご飯食べられない人居ないか**チェック、食べられない人は必ず途中でバテるので、チョコやパン等をポケットに入れて、登山中チョコチョコ何時でも食べられる様に指導すること。
- ⑨ 大雨等天候不良時は、前日でも良いので中止して、後日に変更して実施するなども必要、でも飛行機使用の場合はキャンセル料の関係もあって難しい時もあります。
- ⑩ その他ですが
  - 早朝朝食済ませて参加・昇る時にはすでに3~4時間経過している場合が良くある、そのまま登るとすぐシャリバテになるので、登る時軽食を取ってから出発するような配慮も必要
  - 雨具使用が心配される時は、袋から出してすぐ着られる様にリックの取り易い処に入れて置く、ファスナー外して、当然リックカバーも
  - 5年以上経ったゴアの靴は要注意、底剥がれるのは時間の問題、出発時点検も必要
  - リックのベルトの使い方分からない、締めないでダラーと腰まで下げたまま居る、それか

らリックなど何でも良いと思って居る（子供のお下がりなど）リックは頭つきのリックが良い、雨具・着替えなど臨時にしまうのに便利。ポシエットはあまり感心しない（小さい物なら良いが、腹の上に大きなポシエット）足元が見えないし腰に来る

- 山小屋のほとんどのトイレは紙分別だ、知らない人はまったく理解できないし考えも付かないのでよく話をして下さい、癖でつい紙を捨ててしまうので。それから、山小屋に風呂や水洗トイレ・ゆかたがあると居る人も中にはおります、ですから詳細の説明が必要です
- イントラは出発から途中山の通過時間、到着時間の明細を記帳し、次回の参考に役立たせること、色んな出来事も含め
- 個人情報の問題があり、個人ごとの**病歴等を把握できない**、だから**体調は完全に自己管理**であることを理解していただく事（自己管理票の活用）

下記添付の**自己管理票**を各人記入の上所持させる（名刺大）、非常時必要な相手（医師など）提示することにより、治療等の対応がスムーズになる

住 所 _____
生年月日 19 . . 血液型 RH ( ) _____
緊連印 _____ 山岳保険 有 無 _____
既往症 _____
常用薬 _____
健保証名称 _____ 番号 _____

◎ トムラウシの遭難に関して

原因は色々有ると思いますが、大雨の中強行した事が一番でしょう、しかし陰に隠れている問題として、リーダー同士のコミュニケーションが取れていなかった（初対面だった事もあるが）それからツアーは帰りの飛行機や宿泊他のキャンセル料支払いが大きなネックとして実は存在する訳です、ですから予定通り行動したい気持ちが働くことも事実です

それから、途中の強風下で1時間以上停滞した、停滞中に冷却された血液が歩行によって全身に巡り、加速度的に体温を下げる、その対応は避難場所まではカメの速さで歩き続ける事が大切の様です、急ぐことはマイナス（実際は急ぐので要注意）

**「人が喜ぶ事をしてやろう そうすれば 自分も幸せになる」…の心を忘れずに**

※ ネパールには登山しに行くのではなく 4000m程度から山を見に行くツアーです、それよりも山で暮らす人々の生活は我々の 50 年前の姿を思い出させられる光景に感動。しかし何と無駄な事を私達がしているのか、何時もその反省に気づかされるネパールが好きです、是非皆さんにお勧めします

以上、私のつたない講演をお聞き頂き誠にありがとうございました、皆様方のご健康とご活躍をお祈りしながら終わりにいたします、ありがとうございました。